

# 平成29年度 事業報告書

ハーバー大慈

## 1. <施設理念>

児童福祉法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、利用者の人権を尊重し、地域から信頼される施設を目指す

## 2. <基本方針>

- ①利用者の利益を最善の目的とし、利用者主体の福祉サービスを提供する
- ②母と子の権利擁護のために、職員一人ひとりの倫理観、人間性を養い、母と子が安心して生活出来る場を提供する

## 3. <ハーバー大慈における中長期ビジョン>

- ①入所者が金銭的、精神的、社会的に自立出来る様、自立に繋がる支援をする。また、全職員が、そのビジョンに対し、共通の意識を持ち、業務を遂行する
- ②内部組織の強化
- ③地域に貢献する

## 4. <目標>

- ①各入所者の自立へのプロセスを明確にし、ニーズに沿った支援をする

各入所者の自立へのプロセスを考え、課題に沿った支援を行ってきたが、結果が伴わない所もあった。入所者自身も課題と感じ、一緒に計画を立てるが、上手く克服できず、前に進めていない現状が見られるので繰り返し時間を掛け、目標に近付ける様なアプローチを考え、実行していきたい。

- ②職員の資質の向上

各職員の経験年数が上がったことや職員数の減少などもあり、様々な場面で自分の役割(立場)を考え、責任を持って行動する姿が各職員に多く見られた。上記①の目標達成も含め、職員の資質向上が入所者へのより良い支援に繋がっていくので、来年度も各職員が責任感を持ち、自発的に行動出来るよう、研修や会議の場を通して資質の向上に努めていきたい。

- ③地域のニーズに沿ったサービス、子育て支援を行う

今年度もリフレッシュ保育を通し地域の子育て支援を行った。年々、利用者数は減っているが、現利用者にとっては仕事や家庭の事情から必要なニーズのため、今後も地域の子育て支援として役割を果たしていきたい。  
※リフレッシュ保育の利用者数等は、“13.<リフレッシュ保育>”を参照。

## 5. <健康診断>

種類	職員	母親	児童
一般健康診断	年2回	年2回	年2回
検便 (O-157)	月1回	—	—

## 6. <広報>

毎月、施設内新聞を利用者、関係機関に配布した。

7. 《入居者の異動利用状況》

月別区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍数		19	20	18	18	19	20	20	20	18	18	19	19	228
		41	43	39	39	41	44	44	44	40	40	44	44	503
入所	夫の酒乱	1				1					1			3
	暴行	2				3					4			9
	住宅喪失													
	その他					1								1
						2								2
退所	公営住宅入居													
	民間住宅入居		1						2					3
	復縁再婚		2						4					6
	その他		1											1
		2												2
短期保護	母子						1	1	1	1	2	1	2	9
							4	2	2	2	7	3	5	25
	婦人			1	1									2

(数字の上段は世帯数、下段は人数)

母子婦人短期保護の母子家庭は、6世帯18名 婦人は2名 延人員20名だった。

8. 《保健衛生》

業者に依頼し、廊下清掃、各居室のエアコン清掃、排水管清掃（台所、浴室、洗濯機置場）、を行った。また、各居室・短期保護室・事務所・集会室・宿直室・倉庫の害虫駆除を行った。

9. 《避難訓練》

- ①消防訓練→毎月1回行う。また、水消火器を用意し消火器使用の訓練も取り入れた。
- ②地震訓練→地震後の津波を想定し、大倉山公園まで避難の練習をした。
- ③不審者訓練→施設への不審者侵入を想定し、訓練を行った。

10. 《会議》

頻度	会議名		
月1回	職員会議	支援会議	
	リフレ委員会	リスクマネジメント会議	リーダー会議
年2回以上	三者連絡会議（施設、こども福祉係・保護係等の各担当者）		

1 1. 《行事内容》

○年間行事（月極・・・母の会・避難訓練）

月	日	行事	月	日	行事
4	10	昼食会	10	8	母と子の親子エンジョイ（ドイツの森）
	12	昼食会		14	昼食会
	22	個別対応遊び（たこ焼きパーティー）		28	個別対応遊び（人と自然の博物館）
	23	神鋼バス旅行招待(六甲山)		29	昼食会 OB会、アイススケート招待
5	13	昼食会	11	4	昼食会
	14	母子協 母と子の運動会（湊小学校）		11	個別対応遊び(クリームシチュー作り)
	20	個別対応遊び（卓球）		18	昼食会
	27	昼食会		23	児童エンジョイ （ニフレル・オービィオオサカ）
				25	施設内忘年会
6	1	害虫駆除	12	9	個別対応遊び（お菓子作り）、昼食会
	10	昼食会		26	施設内クリスマス会
	24	個別対応遊び（カラオケ）、昼食会		27	昼食会
7	7	七夕（鮭寿司・豚汁）	1	13	個別対応遊び（食事作り）
	8	個別対応遊び（ボルタリング体験）		15	母子協 新春母と子の集い
	21	昼食会		20	新年会
	25	昼食会		27	昼食会
	26	昼食会			
	28	海釣り招待			
	31～ 8/2	母子協 児童キャンプ（香住）			
8	2	昼食会	2	2	節分（巻き寿司・豚汁）
	9	昼食会			個別対応遊び（巻き寿司作り）
	9～	個別対応遊び（小学生キャンプ）		10	昼食会
	10			24	昼食会
	17～	個別対応遊び（中・高校生女子キャン			
	18	プ）			
	21	昼食会			
	22	昼食会			
	23	昼食会			
	24	地藏盆			
28	料理教室招待、昼食会				
9	1	昼食会	3	1	ひな祭り（鮭寿司・豚汁）
	3	母子協 バス旅行（東条湖おもちゃ王国）		2～4	母子協 児童スキーキャンプ（ハチ高原）
	9	個別対応遊び（キッザニア甲子園）		17	個別対応遊び（食事作り・ピクニック）
	16	昼食会		20	昼食会
	30	焼肉パーティー		23	昼食会
				27	昼食会

1 2. 《学習指導》

対象者	頻度	内容
小学生	各児童週1～2回	国語・算数・英語（月に1度、4年生以上の児童） 個々の能力に沿って、担当職員がプリントを作成し、学校の宿題後に行った。（児童の能力に合わせて、必要な児童にはワークも購入した。）
	夏・冬の長期休みは、毎日（月～金）1時間	国語・算数の宿題。終了している場合は、他の科目の宿題。
中学生	週1回	英語・数学のプリントを用意し、行った。また、学校、塾のワークを一緒にした。
	テスト前は2日間連続	テスト範囲。
	夏・冬の長期休みは、毎日（月～金）1時間	英語・数学の宿題。終了している場合は、他の科目の宿題。
高校生	週1～2回（2時間）	教科全般 神戸大学の学生に家庭教師として来てもらい、個々の能力に沿って、1対1で学習指導をしてもらった。 （高校3年生に関しては、受験勉強の学習指導をしてもらった。）

1 3. 《施設整備等》・・・49万以下の主な工事等を記載

項目
部屋のリフォーム工事
応接室換気扇交換
施設周りフェンス修繕
ガス感知器交換（24台）
集会室工事
非常灯交換、配線工事

1 4. 《リフレッシュ保育》

平成29年度年間延べ622人（昨年度年間延べ755人）

→前年度より133名減少した。日、祝日の利用者も平日（月～土）の利用者も減っている。施設や学童保育との兼ね合いや職員の勤務体制などから、利用を断ざるを得ない状況が多々あった事が要因と考えられる。来年度は職員の数も増え受け入れ体制が整うため、可能な範囲で受け入れを行い利用者を増やしていきたい。また、引き続き貼り紙等の広報活動を行い、地域のニーズに沿った支援を行っていきたい。

平成29年度 月別利用者数

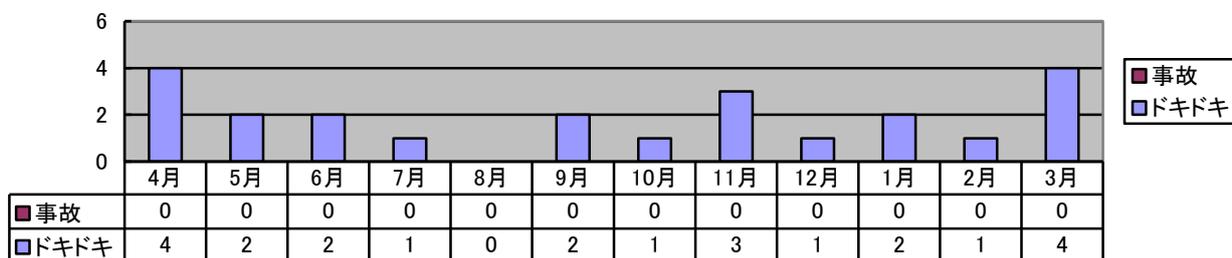
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H29	55	66	36	61	60	50	53	42	79	39	42	39
H28	55	49	35	52	68	61	73	80	90	65	53	74

15. 《リスクマネジメント報告》

① 29年度ヒヤリハット報告件数・・・23件（学童保育は除く）

※28年度報告件数18件（学童保育は除く）

ヒヤリ報告(件数)

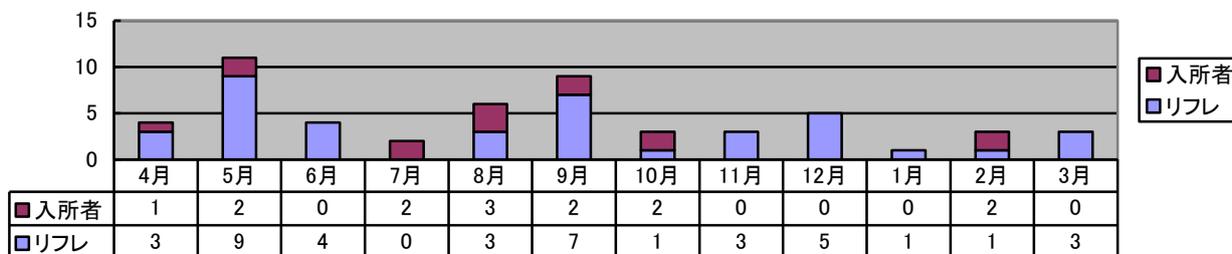


② 29年度ヒヤリハット以外のケガ報告件数（ケガノート） ※学童保育は除く

リフレ・・・40件 入所者・・・14件 ※28年度報告件数（学童保育は除く）

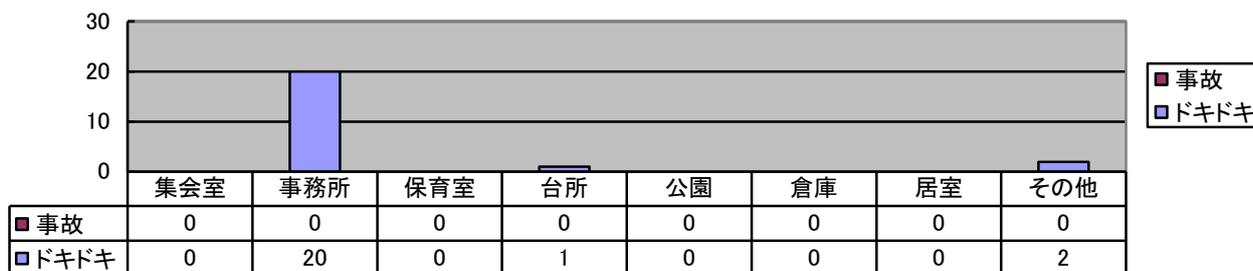
リフレ・・・36件 入所者・・・6件

ケガ報告(件数)

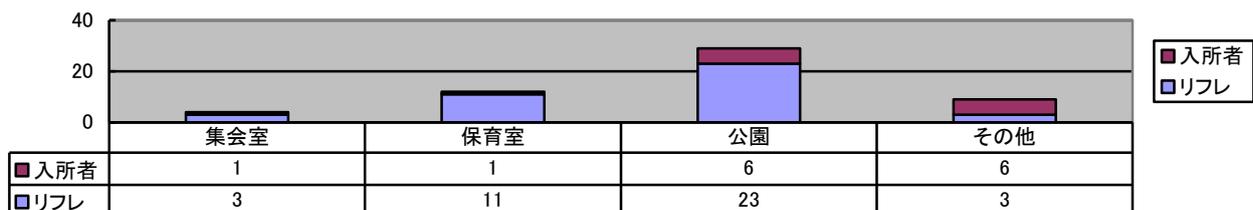


③発生場所別件数

ヒヤリ報告(場所)

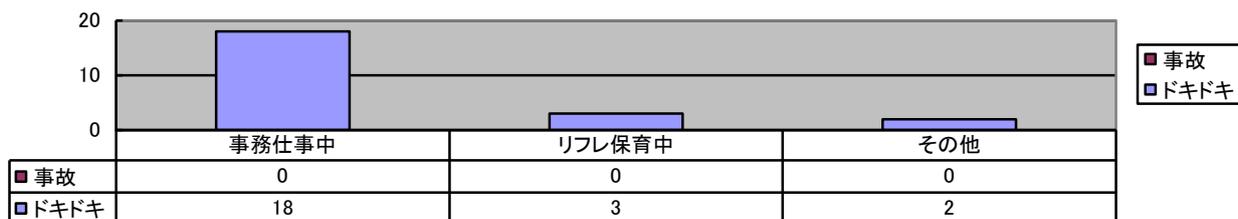


ケガ報告(場所)

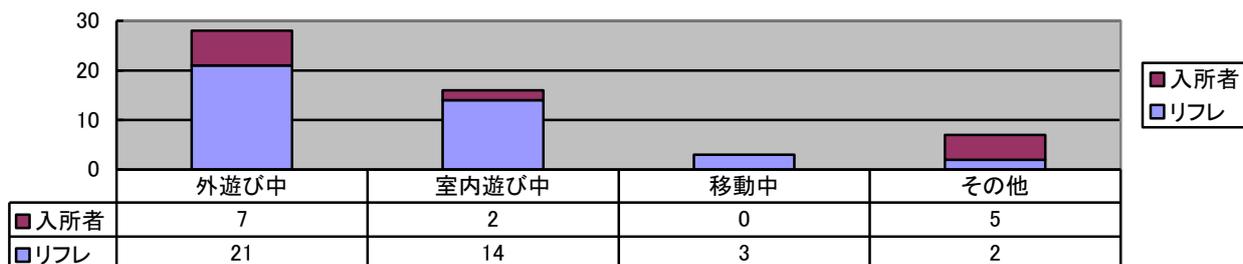


④発生状況別件数

ヒヤリ報告(状況)



ケガ報告(状況)

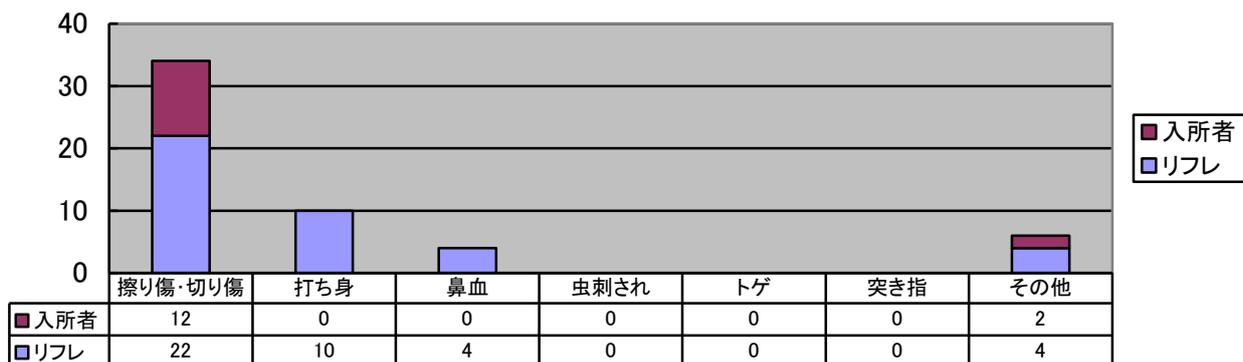


⑤発生内容別件数

ヒヤリ報告(内容)

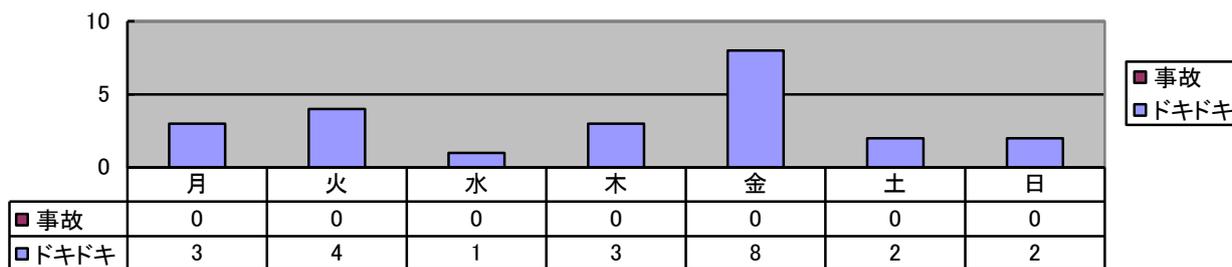


ケガ報告(内容)



⑥曜日別件数

ヒヤリ報告(曜日)



⑦時間帯別件数

ヒヤリ報告(時間)



⑧まとめ

ヒヤリ→前年度と同じく確認ミスが多い。職員同士が声を掛け合う事で防げるミスも含まれていたため、お互いに情報を共有する事でリスクの軽減に努めたい。また、郵便物に関するミスは全職員が個人情報の取り扱いについて慎重に行っていく必要があるため、対策等を徹底していきたい。

事故→施設、リフレッシュ保育において、事故報告はなかった。来年度も日頃よりリスク管理に対して高い意識を持ち、業務に取り組んでいきたい。

ケガ報告→転んだりなど遊んでいる中で起こったものが多く、未然に防ぐ事が難しい不慮のケガが多かった。ケガの把握やケガに対する処置が適切に行えるよう、また緊急時に関する対応など、全職員がケガに関する知識を持った上で安全に遊べるよう、徹底していきたい。

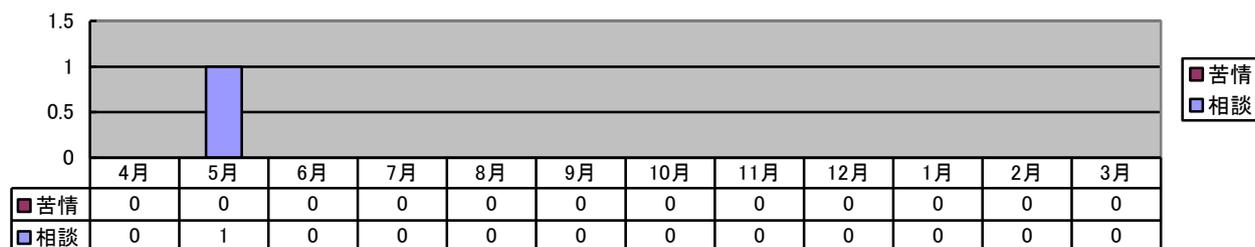
16. <<苦情・相談結果報告>> 苦情の定義→施設長が状況を見て、苦情か相談かを判断する。

件数…苦情0件、相談1件

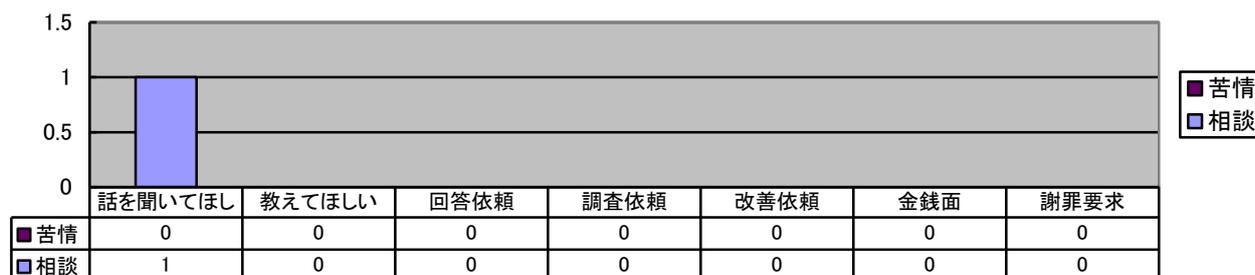
○報告件数

平成29年度				平成28年度			
報告件数	合計件数	苦情	相談	報告件数	合計件数	苦情	相談
	1件	0件	1件		2件	0件	2件

苦情・相談報告(件数)



苦情・相談報告(要望)



#### まとめ

今年度、苦情は0件だった。相談は入所者同士によるトラブルで、話しを聞くだけで良いとの事で、職員が間に入り調整する事はなかった。入所者が生活しやすいよう、日頃から相談や話しやすい環境を整える事は勿論、苦情があった際は二次的な苦情に繋がらないよう対応に気をつけていきたい。

#### 17. 《地域貢献》

- ①法人内認定こども園の時間外保育受け入れ（20時以降）
- ②リフレッシュ保育事業の保育時間延長（21時以降）
- ③アフターケアによる居室訪問、病院の付き添い、金銭管理、関係機関との連携等

法人内こども園の時間外保育受け入れは20時～21時半の間で定期的にご利用があった。アフターケアは5件行った。2件→関係機関との調整、2件→関係機関との調整、金銭管理、病院への付き添い、1件→児童のみ退所し関係機関との調整、金銭管理。退所＝課題が全て解決したということではないので、来年度以降も安心して生活してもらえるよう必要なアフターケアを行っていきたい。

#### 18. 《総括》

今年度は職員の減少などもあり、職員一人ひとりの業務の負担は増えたが、それに伴い各職員が今何をしないとイケないのかなど、自発的に責任を持って動く姿が見られた。処遇面に関しても、各担当より積極的に意見が出る様になっており、成長につながる良い経験ができた1年だった。また、よりチームワークも求められる1年だったため、各処遇や業務等で協力し合うことができ、チームとしての絆を深める1年にもなった。

来年度は職員も増え広い視野を持って業務に取り組めるため、今年度学んだ経験を活かし、処遇・業務に携わっていきたい。